

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第76回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

- 1 日時 2018年09月04日(火) 10:00~12:05
- 2 場所 5 東洋海事ビル D会議室
- 3 出席者(順不同, 敬称略)
- (出席委員) 新堀部会長, 高橋副部会長, 加藤幹事, 大久保, 片岡, 川上, 小山, 斉藤, 坂下(人事案件審議中から入室), 白井, 田中, 田村, 藤田, 古谷, 山本 (15名)
- (欠席委員) 大間, 小畑, 中島, 深澤, 柳原(5名)
- (代理委員) 本山 光志(日揮/久保代理) (1名)
- (委員候補) 久野 悟(中部電力), 中澤 俊之(三菱マテリアル) (2名)
- (欠席委員候補) 高橋 秀治(東京工業大学) (1名)
- (常時参加者) 吉居 大樹(1名)
- (欠席常時参加者) 臼井 謙彰(1名)
- (説明者) 高橋副部会長, 【LLW放射能評価分科会】北島英明幹事, 本山光志常時参加者(2名)
- (事務局) 中越, 田老, 谷井, 皆月(4名)

4 配付資料

- FTC76-0 第76回原子燃料サイクル専門部会議事次第(案)
- FTC76-1 第75回原子燃料サイクル専門部会議事録(案)
- FTC76-2 人事について
- FTC76-3-1 “ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順” 標準改定原案に関する決議投票結果について
- FTC76-3-2 “ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順” 標準改定原案に関する決議投票で受付けた意見への回答案について
- FTC76-3-3 “ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順” 改定前後比較表
- FTC76-4 分科会活動状況

参考資料

- FTC76-参考1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿
- FTC76-参考2 標準委員会の活動状況
- FTC76-参考3 原子燃料サイクル専門部会出席実績

講習資料

- FTC76-説明-1-1 標準委員会 行動指針の周知徹底活動 日本原子力学会の行動指針について
- FTC76-説明-1-2 標準委員会 倫理規程の周知徹底活動 倫理規程の改定と狙い
- FTC76-説明-2 日本原子力学会の行動指針
- FTC76-説明-3 日本原子力学会倫理規程

5 議事内容

事務局から開始の時点で委員 21 名中、代理委員を含め 16 名の出席があり、成立に必要な委員数（14 名以上）を満足している旨報告された。

（1）前回議事録の確認（FTC76-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

（2）人事について（FTC76-2）

配付資料 FTC76-2 に基づいて、専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり、専門部会の委員退任等が確認され、審議の結果、専門部会の委員選任等が決議された。

【専門部会】

1) 委員退任の確認

上田 真三（三菱マテリアル）

熊崎 隆啓（中部電力）

2) 委員選任の決議

久野 悟（中部電力）

高橋 秀治（東京工業大学）

中澤 俊之（三菱マテリアル）

3) 委員再任の決議

柳原 敏（福井大学）

【分科会】

1) 委員退任の確認

【LLW 廃棄体等製作・管理分科会】

伊藤 千浩（電力中央研究所）

熊谷 守（日本原燃）

【LLW 処分安全評価分科会】

坂井 章浩（日本原子力研究開発機構）

坂本 義昭（日本原子力研究開発機構）

吉原 恒一（原子力安全推進協会）

【LLW 埋設施設検査方法分科会】

金子 俊輔（東電設計）

【LLW 放射能評価分科会】

岩崎 智彦（東北大学）

新津 茂彦（東京電力ホールディングス）

- 脇 寿一（関西電力）
- 【リサイクル燃料貯蔵分科会】
- 高橋 忠克（原燃輸送）
- 2) 委員選任の承認決議
- 【LLW 廃棄体等製作・管理分科会】
- 丸 和広（日本原燃）
- 山本 武志（電力中央研究所）
- 【LLW 処分安全評価分科会】
- 田中 正人（関西電力）
- 根本 修（東京電力ホールディングス）
- 宮本 真哉（東芝）
- 【LLW 埋設施設検査方法分科会】
- 鬼澤 克幸（日本原子力発電）
- 田坂 嘉章（東電設計）
- 中瀬 辰男（関西電力）
- 根本 修（東京電力ホールディングス）
- 【LLW 放射能評価分科会】
- 相澤 直人（東北大学）
- 中瀬 辰男（関西電力）
- 根本 修（東京電力ホールディングス）
- 【リサイクル燃料貯蔵分科会】
- 松本 光郎（原燃輸送）
- 3) 常時参加者登録解除の確認
- 【LLW 廃棄体等製作・管理分科会】
- 木原 伸二（日本原子力研究開発機構）
- 手塚 将志（日本原子力研究開発機構）
- 中山 武則（神戸製鋼所）
- 【リサイクル燃料貯蔵分科会】
- 大野 敬介（国土交通省）
- 【LLW 放射能評価分科会】
- 田中 正人（原子力環境整備促進・資金管理センター）
- 井上 亮（原子力規制庁）
- 4) 常時参加者登録承認の確認
- 【LLW 廃棄体等製作・管理分科会】
- 加藤 藤孝（日本エヌ・ユー・エス）
- 土田 大輔（日本原子力研究開発機構）
- 【LLW 埋設施設検査方法分科会】

齊藤 太一（日揮）

【LLW 放射能評価分科会】

脇 寿一（原子力環境整備促進・資金管理センター）

古田 美憲（原子力規制庁）

【リサイクル燃料貯蔵分科会】

高橋 秀治（東京工業大学）

（3）講習

「原子力学会で定めた行動指針，倫理規程，標準委員会活動基本方針に関する講義」

①原子力学会の行動指針+倫理規程（FTC76-説明-1-1，FTC76-説明-1-2，FTC76-説明-2 FTC76-説明-3）

②標準委員会活動基本方針（FTC76-説明-4）

高橋副部長から配布資料 FTC76-説明-1-1，FTC76-説明-1-2，FTC76-説明-2，FTC76-説明-3，FTC76-説明-4 に基づいて，原子力学会で定めた行動指針，倫理規程，標準委員会活動基本方針に関する講習があった。

主な質疑等は以下のとおり。

Q：活動基本方針の資料に平成 30 年 6 月改定予定とあるが、これは 6 月 6 日改定されたということでしょうか。

A：そのとおりです。

Q：また、資料に赤色や青色でハイライトされているが、そこが改訂箇所か？

A：説明の際に強調されたところではあるが、明確に変更箇所という説明はなかった。

C：変更点については、旧版と比較して見る必要があるということで、理解。

C：本教育については、各分科会で展開をお願いする。本日、分科会代表者が出席されていない分科会については、代表者に資料を送付し、自習していただいて展開していただくこととする。もし質問等があれば専門部会に質問していただき、可能な範囲で回答することとした。

（4）【報告・審議】

“ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順” 標準改定原案に関する原子燃料サイクル専門部会決議投票結果及び受付けた意見への回答案について（FTC76-3-1，FTC76-3-2，FTC76-3-3）

事務局から配布資料 FTC76-3-1 に基づいて，“ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順” 標準改定原案に関する原子燃料サイクル専門部会決議投票で可決されたことが報告された。引続いて，LLW 放射能評価分科会の北島幹事，本山常時参加者から

FTC76-3-2, FTC76-3-3に基づいて、当該決議投票で受付けた意見への回答案について報告があり、当該回答案で標準委員会で本報告することが承認された。

主な質疑等は以下のとおり。

C:表現の適正化を図るべくコメントを出した。

C:標準図書の品質の確保を行い、今後は、性能規定化に向けて、国内で認められていくような民間標準としていくことが必要である。

C:今回多くのコメントを出し、時間がない中で対応を頂いたようだが、更に内容の適正化を図るように今後も検討して欲しい。

C:クリアランスを含め、このような放射能評価を標準化することは、事業者として重要なことである。

Q:Cs-137 高レベルプラントのレベルはどの程度か。

A:具体的なレベルはなく、過去の燃料損傷の大きさから、具体的な発電所に対して設定されている。

(5) 【報告】原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況について (FTC76-4)

各分科会関係者から配布資料 FTC76-4 に基づいて“原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況”について報告があった。

6 その他

次回第 77 回原子燃料サイクル専門部会は、11 月 28 日 (水) 10:00 から開催することとなった。

以上